

進捗報告書（実行団体）

事業名: 心身に不安のある方の無料の健康相談と支援事業

Version 1.2

資金分配団体: 特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク

日付: 2021年10月16日

実行団体名: NPO法アインサロンみんなの保健室

実施時期: 2021年7月～2022年2月

事業対象地域: 栃木県

事業対象者: 心身に不安のある方で特に孤立化しやすい方、自己管理能力の低い方

I. 事業概要

事業概要
1. 無料の健康相談と支援: 火水木曜日の午後2時～6時 方法: 対面による相談、電話による相談 支援者: 有資格者（保健師・助産師・看護師・社会福祉士）2.健康維持増進のためのセミナー: 月に1～2回 テーマは高齢者の虚弱の改善 生活習慣病予防、依存症など企画する。講師は内部講師と、他職者連携し依頼する。

II. 進捗報告の概要

総括
健康相談は面談は延べ44名、電話相談延べ49件、合計93名で目標80名を上回る。老人会との交流会7月、9月の2回開催。セミナーは2回開催する。他団体との連携・協働は3団体（そらいろコアラ・フードバンク・宇都宮市つなサポ）地域では9月に西地区民生委員3名と打ち合わせをして、孤立が心配の家屋に『みんなの保健室』のチラシを配布した。11月～障害者就労支援センターで利用者を対象に健康づくりセミナーを毎月一回開催することになった。『みんなの保健室』での健康セミナーは毎月1回、公開で企画している。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
ひとりで心身の悩みや不安を抱えることなく「サロンみんなの保健室で相談することができる。2.健康に関するセミナーを開催し健康維持増進に寄与する。	健康相談は7月～9月末で入室面談が44名、電話相談が49件である。面談時は不安の軽減度合いなど書面で評価をしており、概ね「不安は緩和した」、「楽になった」と答えている。老人会との交流会は2回実施した。講話後に書面でアンケートを実施し評価は概ね良好である。健康に関するセミナーは2回実施しこちらの評価も概ね良好であった。引き続き実施していく予定。

活動	進捗状況	概要
健康相談	ほぼ計画通り	現状維持で進めていく。出前健康相談は依頼はあるが具体的に進んでいない。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
無料の健康相談を柱として、健康に関するセミナーなど開催しながら、県民の健康維持増進に寄与していく。社会的弱者を支援する他団体とのネットワークを広げ協働していく。

V. インプット

	2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率	
事業費	直接事業費	¥0	¥728,000	¥728,000	¥262,195	36%
	管理的経費	¥0	¥175,000	¥175,000	¥23,902	14%
合計	¥0	¥903,000	¥903,000	¥286,097	32%	

補足説明
管理費の水道光熱費は予算より低額で収まっている。銀行の支払い手数料を予算に計上してい

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

引きこもりや孤立化している人へのアプローチの困難性：孤立化予備軍へのアプローチを継続的にしていく。また人は病気で不自由でなければ健康について意識することが少ないと思われる：未病の段階で健康維持増進、日頃からの健康管理の重要性をセミナー等で広報していく。

VII. その他

自由記述

特記無し

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	下野新聞レディースクラブ「presso2021」の広報誌に毎月「ソロンみんなの保健室だより」を掲載している（配布対象県内800件くらい） 9月22日に「まちびあ」の取材を受けた。10月13日：下野新聞くらしのページにみんなの保健室開設1年の記事が掲載された。
広報制作物等	有	リーフレット20000枚（内1000枚配布）
報告書等	無	10月8日：宇都宮市まちづくり課にNPO法人の総会後の報告書一式提出

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	9月11日に定期総会実施した。
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	活動規定・事務決済規定を整備し、内部窓口は代表としている。